

平成30年3月30日

各 位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

信州大学との協働開始

～「インターバル速歩」を活用した中小企業における健康経営の実践支援～

T & D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔、以下「当社」）は、インターバル速歩を活用した中小企業における健康経営^{※1}の実践支援に向けて、平成30年4月より信州大学 先鋭領域融合研究群 バイオメディカル研究所（学長：濱田 州博、教授：能勢 博^{※2}、以下「信州大学」）との協働を開始いたします。

当社は、中小企業における健康経営の普及支援活動を「DAIDO KENCO アクション」^{※3}と称し、全社一体となった取組みを展開しています。この取組みの中で提供している、大同生命「KENCO SUPPORT PROGRAM」（以下、本プログラム）は、健康経営「KENCO SUPPORT PROGRAM」は、健診結果やバイタルデータの管理、生活習慣病の発症予測など、健康経営の実践WEBツールとして、多くの企業の皆さまに導入いただいています。

一方、信州大学では、「体力」「運動強度」に注目した「インターバル速歩」の実証効果を長年にわたり研究してきました。その結果、運動トレーニング（インターバル速歩）による体力向上を通じて、生活習慣病、認知症、うつ病などの症状改善につながるということが立証されており、その効果は国内外で高い評価を得ています。

今後、信州大学と本プログラムの開発を担う株式会社バリューHR（社長：藤田 美智雄、東証一部上場（証券コード 6078））と協働し、本プログラムへの「インターバル速歩」の概念を組み込んだ国内初となる生活習慣病改善効果の将来予測機能の導入を目指します。

また、本プログラムを通じた協働以外にも、能勢教授と当社によるセミナーの共催など、幅広い分野での協働をすすめ、中小企業とそこに働く人々が活き活きと活躍できる社会づくり、ひいては健康寿命の延伸など、わが国の高齢化社会が抱える課題解決への貢献に向けた取組みを進めて参ります。

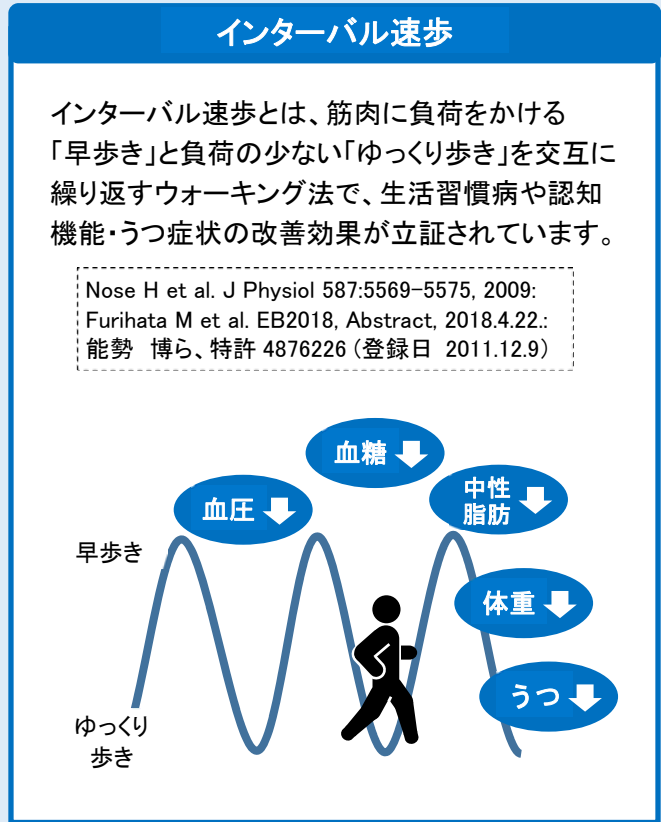
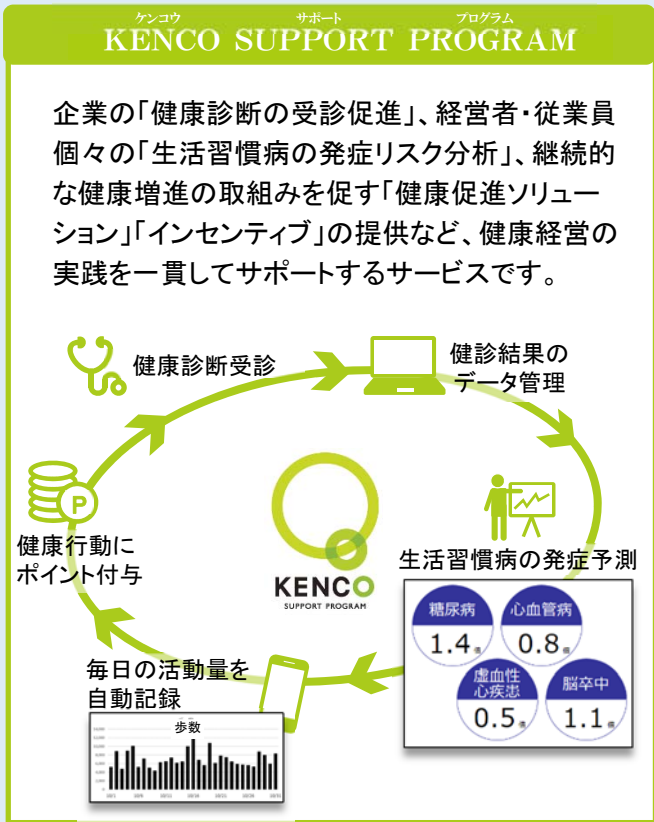
以 上

※1 「健康経営」とは、企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践することです。「健康経営」は特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標です。

※2 平成30年4月1日以降は、信州大学大学院・総合医理工学研究科・特任教授

※3 [「DAIDO KENCO アクション」および本プログラムの詳細は、平成28年12月1日付ニュースリリース「『健康経営』の普及を通じて中小企業をもっと元気に」をご覧ください。クリックすると該当ページに移動します。](#)

「KENCO SUPPORT PROGRAM」と「インターバル速歩」の融合イメージ



インターバル速歩による改善効果のアルゴリズムを本プログラムに導入

国内初となる「体力」「運動強度」に着目した生活習慣病改善効果の将来予測機能の開発

運動などによる疾病リスクの改善効果の確認は、多くの人の場合、1年に1回の健康診断の受診時となりますが、改善効果が分からないまま1年間(次回健診時まで)運動を継続することはとても大変です。今般、「インターバル速歩」のアルゴリズムを本プログラムに導入することで、日々の運動の効果を反映した生活習慣病の発症リスクの変化が短期間(例:週単位)で確認でき、健康改善に向けたモチベーションの維持・向上が可能となります。

